

民間資金導入による町家流通スキームの調査研究

■調査実施地域:石川県金沢市

■調査実施者:金沢市

◎背景・課題

- 金澤町家＝金沢の全体像を示す貴重な歴史文化資産
⇒維持・継承が歴史的風致維持向上に不可欠
- 金澤町家の滅失＝伝統的町並みの破壊
→市街地の空洞化、都市の魅力と個性の喪失
- 空き家等未利用町家の存在＝取り壊しに波及
→町家流通市場の活性化が必要



◎目的

- 金澤町家の保全活用＝人々の生活、生業の場として次代に継承
- 良好な金澤町家⇒都市の個性と魅力を高める独自の歴史まちづくりの推進につなげる。

実施内容

①行政と民間が協働した町家流通スキームの検討

- 町家流通市場創出に求められる機能
 - ・コーディネート機能、信用保証機能、情報発信機能
- 町家流通スキームを担う組織の検討
 - ・信託制度方式と一括借上げ方式との比較
 - ・一括借上げ事業の規模、業務内容等の具体的想定、空き家リスクの対応→シミュレーション
 - ・市民ファンド等の民間資金調達への調査、民間資金調達の可能性・実現方法

②現地調査に基づく町家の現状把握

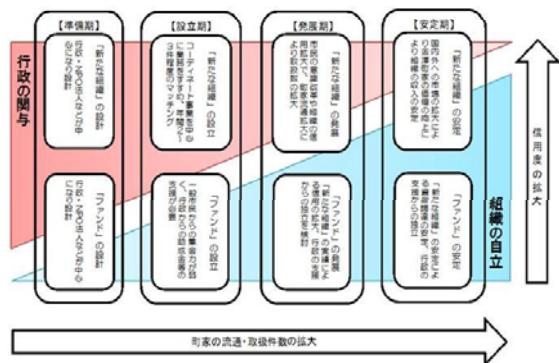
- 町家流通スキーム実施に必要な情報の収集
 - ・対象区域の町家(約6,300棟)の現地調査、利用者の意向ヒアリング調査
 - ・調査結果の分析
- 町家カルテの整備
 - ・町家のカルテ(フォーマット)の作成

◎町家のデータ整備は、流通スキームの構築・運営に必要な不可欠である

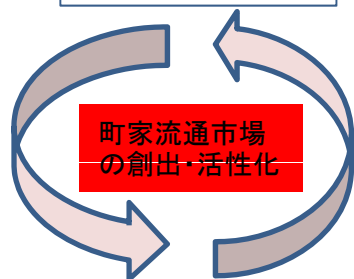
※データ整備には多大な労力と時間を要し、データの管理・使用に留意が必要

民間資金導入による町家流通スキームの全体像

○事業の実施ステップ:活動組織の自立を目指す



事業オプションとして可能な場合一括借上げ実施



○行政の役割:組織への信用付与・補助金制度・市民の意識改革

